

4年前、初めて愛荘町議選に立候補した際のスローガンは「情熱は誰にも負けない」でした。2期目の今回は「情熱で正々堂々、真っ向勝負」として「3つの約束」を掲げました。これから着実に実行して参ります。

3つのお約束

1

「住んでよかったです、これからも
住み続けたい」と思えるまち
づくりを目指します。



- ・「住んでよかった」と思えて初めて「愛着と誇り」が生まれるのです。特に、次代を担う若い世代の方々に「これからも住み続けたい」と思っていただける愛荘町になければなりません。
 - ・具体的には、①町内で過ごす時間が多い子どもや子育て中のお母さん、障がいをお持ちの方やご高齢の方が、安全・安心に暮らせる環境の整備 ②麻と農業と観光資源を活かした、持続性があって稼げる地域経済の活性化 ③自然災害や感染症に対応できる危機管理体制の拡充 ④通学路の安全や高齢者の移動手段の確保 ⑤地域の困境ごとの解決 ⑥自治会活動の維持 などに取り組みます。

2

皆さんに、まちの現状と課題をお伝えし、皆さまから、ご質問・ご意見・ご要望をいただいて、町政に反映します。



- ・議会も行政も住民の皆さんへの奉仕者です。議員 14 名全員が、よりよいまちの実現を目指し、住民とともに心を一つにして、力を合わせて働くべきです。議会や行政の常識が住民の皆さんの常識とかけ離れてはなりません。
 - ・議会や行政で議論されていることを皆さんにタイムリーにお知らせし、町政について今まで以上に関心を持っていただくために「もりの隆 かわら版」を随時発行します。
 - ・また、皆さまのご意見を町政に届けるために「もりの隆ご意見箱」を常設します。電話でもメールでもお手紙でも結構ですので、ぜひお声を聴かせてください。

3

「議員である前に住民である」ことを忘れずに、身を慎んで自己研鑽に努めます。



- ・皆さまの中に自ら飛び込んで話し合いを重ね、悩みと望みを汲み取りながら議論し、時には皆さまに訴え、時には皆さまをリードしていくよう、暮らしの現場を見て、生のお声を謙虚に聴きます。
 - ・「まちじゅう読書の宣言」を掲げる愛荘町の議員として、もっと本を読んで、知識を増やし、思考力と想像力を養つて、人間力を高めます。

ですから、予算案のポイントだけでも、迅速かつ分かりやすく説明すれば、住民の町政に対する関心も高まると思います。

それは行政の義務でもあります。今後、予算・決算に関する情報提供の方法について、担当課と改善策を研究して参ります。

また、予算の執行については経年変化で薄くなつた中山道の白線の引き直しやヒビ割れの補修など、皆さまの身近なご不便の解消に無駄なく使われるよう担当課に積極的に働きかけていきます。

ほりが泳ぐ季節となりました。日頃は、格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

この度の愛荘町議会議員一般選挙におきまして、無投票で当選させていただきました。しかし、いわば「不戦勝」であり、住民の皆さまから「選んでいただいた」訳ではありません。これまでの町議選投票率をみると、2006年76.70%、2010年63.68%、2014

実を片時も忘れず、謙虚に誠心誠意、住民の皆さまのために頑張りたいと存じます。

A yellow butterfly with black veins on its wings is perched on a branch of yellow flowers. The background is white with a dotted border.

長総代会へ出席することによつて、愛知川区だけでなく、町内53自治会が抱えている課題を知ることができます。

The image shows a vertical wooden sign with a triangular roof at the top. The main text "もりのかわら版" is written in large, bold, black, stylized Japanese characters. Below this, the character "隆" (Takashi) is written vertically, with "たかし" written underneath it in smaller characters. At the bottom of the sign, there is a cartoon illustration of a man with a large nose and a white headband, sitting cross-legged and holding a small book or scroll. Below the illustration, the text "第3号" (Issue 3) is written in a stylized font. At the very bottom, the text "發行人 森野 隆" (Publisher: Morino Takashi) and "愛知郡愛莊町愛知川744-1" (Address: Aisho-machi, Aichi-gawa, Aichi, 744-1) is printed. The phone number "TEL 0749(42)6074" and fax number "FAX 0749(42)5574" are also listed.

(1) 主な議案

3月定例会のご報告

連する経済対策や環境整備として、地域のきずなづくり支援事率（R2年度末91・9%）も高い水準が続きます。



教育委員会が示す「未来を拓く愛荘 16 年教育」構想

① 全国学力・学習状況調査結果と「読む力」の向上策について

広報あいしうう（2019.12.21～12.21）の記事に基づいて、おなかの学びの基礎となる「読む力」が小中学校で大きく低下していることを示し、「まったく読書をしない」子どもが小学校で3割、中学校で6割に上っていることが原因ではないかと指摘するとともに、「まちじゅう読書」を宣言している町として、子どもも大人も読書の習慣を付ける施策を進めるよう提案しました。

教育長は、今日までの取り組みや課題の検証・総括を行い、新たに5年間のアクションプランを設定するとし、それまでの期間は「未来を拓く 愛荘 16 年教育」構想によって、おなかの学びの基礎となる「読む力」が小中学校で大きく低下していることを示し、「まったく読書をしない」子どもが小学校で3割、中学校で6割に上っていることが原因ではないかと指摘するとともに、「まちじゅう読書」を宣言している町として、子どもも大人も読書の習慣を付ける施策を進めよう提案しました。

2月上旬、無作為に抽出された18歳以上の2000名を対象に配布された「第2次愛荘町総合計画（後期基本計画）」にかかる町民アンケート調査につい

② 「第2次総合計画（後期基本計画）のための町民アンケート調査」の目的と内容について

3月上旬、無作為に抽出された18歳以上の2000名を対象に配布された「第2次愛荘町総合計画（後期基本計画）」にかかる町民アンケート調査につい

著者は「地方議員の「なり手不足」と「投票率の低さ」は、地方政治における代表制民主主義が、もはや立ちいかなくなっていることを示している」と喝破し、「地方議会での無投票の割合は、これから増える一方だろ」と予想しています。

「なり手不足」は議員の高齢化の一因です。実際、愛荘町議会議員の平均年齢は68.4歳

（40.0歳）、草津市（41.7歳）、守山市（42.1歳）に次いで第4位の若さです。

また著者は、議員に立候補できるのは一部の人には限られるといふ「不平等感」や、議員は次

の選挙のことを考えて行動するのではないかといふ「不信感」を解消するために、一般住民

から無作為に抽出して選ぶことによって、半ば強制的に議員へ

の道を開く「くじ引き民主主義」も一つの方法であると述べています。

（R4.4.1現在）と、改選前の71.9歳（R3.12.31現在）に比べ3歳若返りましたが、議員14名のうち、私も含めて13名が60歳以上となっています。因みに、やや古い数字ですが、2015年の国勢調査によりますと、愛

一般質問は3月17～18日に実施され、議長を除く議員13名のうち10名が登壇しました。議員別の質問内容は、町HPの「町政・町議会」→「一般質問一覧」でご覧いただけます。私は関連資料を十分読み込み、データを分析した上で、次の3点について根拠を示して質問しました。

月に住民の意見聴取（パブコメ）が予定されている「愛荘町まちづくりグランドデザイン2040」との関連およびコンサルへの委託費用を尋ねました。まちづくり創生課長は、「総合計画」は長期的な展望のもと町が目指すべき将来像を示し、その実現に向けたまちづくりの進め方を定めたものであり、長期的な将来を見据えた魅力ある愛荘町を創造していくための「構想」として、まちづくりの方向性等を分かりやすく具体的に示す将来ビジョンである「グラン・デザイン2040」とは位置づけが異なると、極めて分かり難い答弁をしました。委託料は315万7千円とのことです。

最近、「くじ引き民主主義」（吉田徹著、光文社新書）という本を読みました。

著者は「地方議員の「なり手不足」と「投票率の低さ」は、地方政治における代表制民主主義が、もはや立ちいかなくなっていることを示している」と喝破し、「地方議会での無投票の割合は、これから増える一方だろ」と予想しています。

「なり手不足」は議員の高齢化の一因です。実際、愛荘町議会議員の平均年齢は68.4歳（40.0歳）、草津市（41.7歳）、守山市（42.1歳）に次いで第4位の若さです。

また著者は、議員に立候補できるのは一部の人には限られるといふ「不平等感」や、議員は次

の選挙のことを考えて行動するのではないかといふ「不信感」を解消するために、一般住民

から無作為に抽出して選ぶこと

によって、半ば強制的に議員へ

の道を開く「くじ引き民主主義」も一つの方法であると述べています。

（R4.4.1現在）と、改選前の71.9歳（R3.12.31現在）に比べ3歳若返りましたが、議員14名のうち、私も含めて13名が60歳以上となっています。因みに、やや古い数字ですが、2015年の国勢調査によりますと、愛

田徹著、光文社新書）という本を読みました。

著者は「地方議員の「なり手

不足」と「投票率の低さ」は、

地方政治における代表制民主主

義が、もはや立ちいかなくなつ

ていていることを示している」と喝

破し、「地方議会での無投票の

割合は、これから増える一方だ

ろ」と予想しています。

「なり手不足」は議員の高齢化の一因です。実際、愛荘町議会議員の平均年齢は68.4歳（40.0歳）、草津市（41.7歳）、守山市（42.1歳）に次いで第4位の若さです。

また著者は、議員に立候補できるのは一部の人には限られるといふ「不平等感」や、議員は次

の選挙のことを考えて行動するのではないかといふ「不信感」を解消するために、一般住民

から無作為に抽出して選ぶこと

によって、半ば強制的に議員へ

の道を開く「くじ引き民主主義」も一つの方法であると述べています。

（R4.4.1現在）と、改選前の71.9歳（R3.12.31現在）に比べ3歳若返りましたが、議員14名のうち、私も含めて13名が60歳以上となっています。因みに、やや古い数字ですが、2015年の国勢調査によりますと、愛

田徹著、光文社新書）という本を読みました。

著者は「地方議員の「なり手

不足」と「投票率の低さ」は、

地方政治における代表制民主主

義が、もはや立ちいかなくなつ

ていていることを示している」と喝

破し、「地方議会での無投票の

割合は、これから増える一方だ

ろ」と予想しています。

「なり手不足」は議員の高齢化の一因です。実際、愛荘町議会議員の平均年齢は68.4歳（40.0歳）、草津市（41.7歳）、守山市（42.1歳）に次いで第4位の若さです。

また著者は、議員に立候補できるのは一部の人には限られるといふ「不平等感」や、議員は次

の選挙のことを考えて行動するのではないかといふ「不信感」を解消するために、一般住民

から無作為に抽出して選ぶこと

によって、半ば強制的に議員へ

の道を開く「くじ引き民主主義」も一つの方法であると述べています。

（R4.4.1現在）と、改選前の71.9歳（R3.12.31現在）に比べ3歳若返りましたが、議員14名のうち、私も含めて13名が60歳以上となっています。因みに、やや古い数字ですが、2015年の国勢調査によりますと、愛

田徹著、光文社新書）という本を読みました。

著者は「地方議員の「なり手

不足」と「投票率の低さ」は、

地方政治における代表制民主主

義が、もはや立ちいかなくなつ

ていていることを示している」と喝

破し、「地方議会での無投票の

割合は、これから増える一方だ

ろ」と予想しています。

「なり手不足」は議員の高齢化の一因です。実際、愛荘町議会議員の平均年齢は68.4歳（40.0歳）、草津市（41.7歳）、守山市（42.1歳）に次いで第4位の若さです。

また著者は、議員に立候補できるのは一部の人には限られるといふ「不平等感」や、議員は次

の選挙のことを考えて行動するのではないかといふ「不信感」を解消するために、一般住民

から無作為に抽出して選ぶこと

によって、半ば強制的に議員へ

の道を開く「くじ引き民主主義」も一つの方法であると述べています。

（R4.4.1現在）と、改選前の71.9歳（R3.12.31現在）に比べ3歳若返りましたが、議員14名のうち、私も含めて13名が60歳以上となっています。因みに、やや古い数字ですが、2015年の国勢調査によりますと、愛

田徹著、光文社新書）という本を読みました。

著者は「地方議員の「なり手

不足」と「投票率の低さ」は、

地方政治における代表制民主主

義が、もはや立ちいかなくなつ

ていていることを示している」と喝

破し、「地方議会での無投票の

割合は、これから増える一方だ

ろ」と予想しています。

「なり手不足」は議員の高齢化の一因です。実際、愛荘町議会議員の平均年齢は68.4歳（40.0歳）、草津市（41.7歳）、守山市（42.1歳）に次いで第4位の若さです。

また著者は、議員に立候補できるのは一部の人には限られるといふ「不平等感」や、議員は次

の選挙のことを考えて行動するのではないかといふ「不信感」を解消するために、一般住民

から無作為に抽出して選ぶこと

によって、半ば強制的に議員へ

の道を開く「くじ引き民主主義」も一つの方法であると述べています。

（R4.4.1現在）と、改選前の71.9歳（R3.12.31現在）に比べ3歳若返りましたが、議員14名のうち、私も含めて13名が60歳以上となっています。因みに、やや古い数字ですが、2015年の国勢調査によりますと、愛

田徹著、光文社新書）という本を読みました。

著者は「地方議員の「なり手

不足」と「投票率の低さ」は、

地方政治における代表制民主主

義が、もはや立ちいかなくなつ

ていていることを示している」と喝

破し、「地方議会での無投票の

割合は、これから増える一方だ

ろ」と予想しています。

「なり手不足」は議員の高齢化の一因です。実際、愛荘町議会議員の平均年齢は68.4歳（40.0歳）、草津市（41.7歳）、守山市（42.1歳）に次いで第4位の若さです。

また著者は、議員に立候補できるのは一部の人には限られるといふ「不平等感」や、議員は次

の選挙のことを考えて行動するのではないかといふ「不信感」を解消するために、一般住民

から無作為に抽出して選ぶこと

によって、半ば強制的に議員へ

の道を開く「くじ引き民主主義」も一つの方法であると述べています。

（R4.4.1現在）と、改選前の71.9歳（R3.12.31現在）に比べ3歳若返りましたが、議員14名のうち、私も含めて13名が60歳以上となっています。因みに、やや古い数字ですが、2015年の国勢調査によりますと、愛

田徹著、光文社新書）という本を読みました。

著者は「地方議員の「なり手

不足」と「投票率の低さ」は、

地方政治における代表制民主主

義が、もはや立ちいかなくなつ

ていていることを示している」と喝

破し、「地方議会での無投票の

割合は、これから増える一方だ

ろ」と予想しています。

「なり手不足」は議員の高齢化の一因です。実際、愛荘町議会議員の平均年齢は68.4歳（40.0歳）、草津市（41.7歳）、守山市（42.1歳）に次いで第4位の若さです。

また著者は、議員に立候補できるのは一部の人には限られるといふ「不平等感」や、議員は次

の選挙のことを考えて行動するのではないかといふ「不信感」を解消するために、一般住民

から無作為に抽出して選ぶこと

によって、半ば強制的に議員へ

の道を開く「くじ引き民主主義」も一つの方法であると述べています。